

Back to おがわぎかい No.111

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

紙面から得る
情報は多い

野村勇一さん
(下里二)

NOMURA Yuichi



—前号 (No.111) を
読んだ率直な感想を
表紙をめくると、迫力
を感じる議員の皆さん
の顔が飛び込んできた！ それぞれに「道の
駅リニューアル」に
対する考え方があり、
興味が湧きました。また、
紙面の随所に登場する住民の姿。この取材
もそうですが、編集委員の努力と苦労が伝わっ
てきます。

—ズバリ、議会・議会だよりに物申す?!

正直、町のことに詳しくないので、紙面から得
られる情報は多いと感じました。今回は担当の
熱意に負けて、恥ずかしながら「議会だよりデ
ビュー」をしてしまいました
(笑)。議会の「活性化」も進
みつつあるようです。期待して
見守りたい!

野村さんイチオシの記事は
P.19「新シリーズ 16人の
一歩」



Gikai's comment

今後も、議会の改革・活性化に向けた取組を
詳報していきます。「住民の皆さんと共に歩む
議会」にご期待ください。

だから 小川が好き!

町への想いを寄稿していただくコーナー

山紫水明が
魅力的な小川町

千野和美さん
(中高谷)

CHINO Kazumi



私は、小川町に
生まれ育って
67年になります。
学生の頃は、都内の
学生寮に住んで、都
会生活を満喫してい
ました。

卒業後、間もな
くして小川町

に戻ったとき、なんだかほっとする「故郷・
小川町」の良さを強く感じました。都内に住
む知人友人が我が家に来たとき、山や川、
田畑の自然風景を眺めて「素晴らしいねー」
と褒めてくれます。

慣れた風景が実はとても素晴らしいも
のなんだと再認識させられます。また、
ここ数年小川町七夕まつりの飾りづくり
に携わらせていただくことがあり、和紙や七夕
まつりが小川町の人々にとって大切な宝物と
なっていることも実感しました。

山紫水明の自然環境や伝統文化を大切
に守っている、そんな小川町を私は誇
りに思います。

わたしの声

町民の声「聴きます×つなぎます」

次の定例会は 9月3日(火)～ 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは小川町ホームページへ

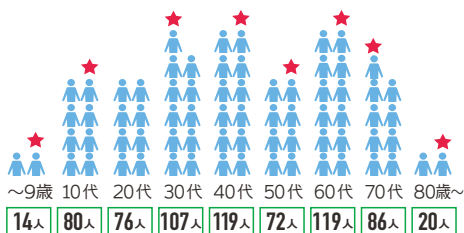


議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ (★印は今号取材)

693人

※No.80以降の
合計人数



●今号の表紙●

元気にスクスク育ってね(ママより)
都内から移住して早4年目。「小川町生まれ」
の愛息は1歳半でヤンチャ盛りだそう。
指差す先には明るい未来が待ってるぜ!

編集後記 議会広報発行特別委員になって、まもなく1年が経
とうとしています。見る聞く書く全て初体験の中で、表面平静を装い
つつ、実は背中に冷や汗をかきながら会議に参加しております(最
近少し慣れました)。多くの方に読んでいただける議会報を作るた
めに、これからは脳みそに汗をかきながら頑張ります。(関根)

発行責任者：小川町議会議長 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚
委員 高瀬 勉・関根慶則
岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています